

人文科学研究所研究叢書

4.『イギリス・ルネサンスの諸相 演劇・文化・思想の展開』

1989年4月1日発行

中央大学人文科学研究所 編 中央大学出版部発行

本体価格4,078円（税別）

ISBN 4-8057-5302-1

はじめに	
I 中世的伝統とシェイクスピア	
1 『ヴェニスの商人』『尺には尺を』と贖罪論	青木 和夫
2 ルネサンス・カオスと『リア王』 —祝祭および演劇における交流の思想	小山 郁夫
3 民衆演劇の歴史ヴィジョン —「悪徳」的人物の〈司会・演出〉機能の展開	百瀬 泉
II 盛期ルネサンス文化の底流	
4 ルネサンス英国の精神風土と音楽 —その多面性と本源性への一考察	富永 道夫
5 ウィリアム・ライトへの旅 —一切支丹迫害と国教忌避者の秘められた絆	竹中 昌宏
6 ヘンリー・ピーチャム『完全なるジェントルマン』 —イギリス・ルネサンスにおけるコンダクト・ブックの一断面	三枝 幸雄
7 修辭的論証のパラドクス —フィリップ・シドニー『詩の弁護』小論	川口 紘明
III 後期ルネサンス思想の結実	
8 メランコリー・人間・社会 —ロバート・バートン『メランコリーの解剖』に関する覚書	上坪 正徳
9 「忘却によって認識はつくられる」 —サー・トマス・ブラウン『一般的謬説』論	秋山 嘉
10 ホップズ思想の現代性 —最「弱者」の思想	相楽 幸助
索引	